

WEEKDAY CAMPUS VISIT 開催レポート（開催日 H28.10.10）

東京都市大学都市生活学部都市生活学科では、10月10日に Weekday Campus Visit（WCV）をNPO 法人NEWVERY と共同で実施しました。高校生がフダン着の東京都市大学に会いにきてくれました。

■当日のスケジュール

- 9：50～10：50 ガイダンス
- 10：50～12：30 2限目を受講 「都市空間の演出」
- 12：30～13：20 学生食堂で昼食
- 13：20～15：00 3限目を受講 「マーケティングリサーチ演習（1）」
- 15：10～16：30 振り返りワーク

～ガイダンス～

まずは、今日1日のスタートとして、ガイダンスを受講。ガイダンスでは、今日のスケジュールと受講科目を確認。その後、グループごとに模造紙と付箋を使って、大学と学部に対するイメージを書き出しました。メンバーそれぞれのイメージを共有すると徐々に、大学で学ぶイメージが膨らんでいきますね。コーディネーターから今日の目的である「東京都市大学の特徴を読み解くこと」と「高校生と大学生の違いを理解すること」が伝えられ、期待と不安が入り交じる中、課題シートを持っていざ授業の教室へ移動。



ガイダンスの様子



ガイダンスの様子

～2限目の授業を受講～

2限目の授業は、「都市空間の演出」。100名近くいる中、巨大スクリーンを使って大教室での講義。スクリーンに投影される説明文や動画を懸命に理解しようとしていました。高校と比べ、先生のペースで進む授業は、高校生にとって少し大変そうでしたがそれも大学と高校の違いの一つ。また、授業中に突然、課題を与えられるのも大学ならではの授業スタイル。緊張感とメリハリのある100分間の授業となりました。受講後、課題シートには授業で習得した知識や気になるワードを記入しておりました。先生の説明を自分なりに理解してノートにまとめる力も大学生には必要な力ですね。授業後、感想として「100分間は少し長かった」とありましたが、表情はとても充実した様子でした。



都市空間の演出



都市空間の演出

～ランチタイム～

2限目の授業の後は、お楽しみの学生食堂でランチタイム。各自、豊富なメニューから注文。大学はメニューが多く迷ってしまいますね。これも大学ならではのランチ体験。友達と話をしているとあっという間に時間が過ぎてしまいますが、3限目の授業に遅刻しないよう準備。時間管理も大学生として大切なことですね。



学生食堂でランチタイム



後片付けを済ませ、3限目の授業へ

～3限目の授業を受講～

3限目の授業は、「マーケティングリサーチ演習（1）」。2限目と授業スタイルが異なり、演習形式の授業。各グループ大学生と高校生が混じって5人～7人に分かれてワーク。授業内容は、学部のPR方法について。自分の学部に入學してくれる為には、どのような広報が効果的か。各グループでは、メンバーの意見や考えを出し合ったり、またパソコンを使って情報収集をしていました。色んな角度からアプローチして、仮説を立てて実行可能かどうか検証することは時間がかかりますが、ゼロから考えて一つの形にすることは日々の調査と研究の積み重ねが大切ですね。高校生は、グループワークを通じて大学生と話すことにより、学校の雰囲気を感じる事が出来たようです。実際に、大学の授業を受けてみると授業内容だけではなく、大学や学生の雰囲気も感じ取ることが出来ますね。



マーケティングリサーチ演習（1）



マーケティングリサーチ演習（1）

～振り返りワーク～

2コマ合計200分の授業を受けた学生は、再びガイダンス会場に戻り、それぞれ感じたことをグループで共有。感じたことを自分の言葉で相手に説明することは、振り返りワークとして大切であり、進学目的が明確になってきますね。実際に大学の授業を受けてみると、「実際の大学について知れてよかった」、「ありのままの学生生活を見れて志望校選びの参考になった」、「将来の夢も具体的に決まっていなかったからいい機会になった」など、高校とは違う点をたくさん発見し、今後の大学選びにおいて貴重な1日となった様子でした。



振り返りワークの様子



振り返りワークの様子